

先人学研究フォーラム

滋賀県は歴史の宝庫であり、多くの先人たちを輩出している。しかしながら、そうした先人たちを政策すなわち、まちづくりや教育に活かしているかといえば充分でないように感じる。そこで、滋賀大学社会連携研究センターをプラットフォームにして、先人を活かして各方面で活躍する団体や機関が一堂に集い、先人学について学びあう場として、昨年度(平成 29 年度)に当フォーラムを設立した。

先人学とは、地域の先人について学び、それをどう後世に伝え、さらには、現代の教育やまちづくりに活かすことができるか、そのために必要・有効なシステムを考える学びである。

昨年度に引き続き、2 回目の今回は、『朝鮮通信使』が「世界の記憶遺産」に今年度登録されたことを記念して、ゆかりの地である東京都台東区と滋賀県長浜市との共催により、平成 29 年 12 月 17 日(日)に、東京都台東区にて、下記のプログラムで実施した。

先人学研究フォーラムー『誠信の交隣』に学ぶ現代のまちづくりー

13:00 受付

13:30 開会

主催者挨拶 滋賀大学社会連携研究センター教授 横山 幸司

13:40 基調講演

「雨森芳洲に異文化理解の心を学ぶ」

長浜市市民協働部歴史遺産課(長浜城歴史博物館)副参事 佐々木 悦也 氏

14:40 休憩

15:00 パネルディスカッション

パネリスト 「静岡に文化の風を」の会代表 佐藤 俊子 氏

〃 川越唐人揃いパレード実行委員会 事務局長 小川 満 氏

〃 長浜市市民協働部歴史遺産課 副参事 佐々木 悦也 氏

オブザーバー 台東区総務部国際交流担当兼世界遺産担当課長 西山 あゆみ 氏

コーディネーター 滋賀大学社会連携研究センター教授 横山 幸司

16:40 閉会

共催者挨拶 台東区総務部国際交流担当兼世界遺産担当課長 西山 あゆみ 氏



第Ⅰ部では、長浜市市民協働部歴史遺産課副参事の佐々木悦也先生から「雨森芳洲に異文化理解の心を学ぶ」を演題に基調講演をいただいた。

第Ⅱ部のパネルディスカッションでは、「静岡に文化の風を」の会代表の佐藤俊子氏、川越唐人揃いパレード実行委員会事務局長の小川満氏、台東区総務部国際交流担当兼世界遺産担当課長の西山あゆみ氏らにご登壇いただき、先人を活かした教育やまちづくりについて、フロアとも交流しながら議論を行った。コーディネーターは滋賀大学社会連携研究センターの横山教授が務めた。

参加者からは「雨森芳洲の果たした役割に深い感銘を覚えた。」「市民レベルでの取り組みに感動した。」等のご意見を数多くいただいた。



【長浜市市民協働部歴史遺産課副参事 佐々木 悦也 氏】



【「静岡に文化の風を」の会代表 佐藤 俊子 氏】



【川越唐人揃いパレード実行委員会事務局長 小川 満 氏】



【パネルディスカッションの様子】

(文責 教授 横山 幸司)